

小国川におけるアユ遡上水準と関連する指標について

鮎師の皆さんは、今年のアユの遡上状況はどうか？と気になりますよね？では、何を参考にすれば良いのでしょうか。小国川に関しては、漁期前に漁協が毎年釣獲調査を実施しています。本来ならこれが一番合っているはず。ということで

データを遡りましたが、残念なことにHPが替わって、リンクエラーなどでデータが一部しかありませんでした。そこで探したところ、[山形県のホームページ](#)に最上川、日向川、鼠ヶ関川の遡上調査結果がありました。これを実際の釣果と比較してみることに。比較する釣果ですが、最も参考になると思われのはメーカー主催の大会結果。小国川ではがまかつ、ダイワ、シマノ、オーナーなどのメジャー大会の予選が行われています。このうちオーナーについては違う河川で開催された年もあるので、残りの3大会をまとめてみました。今回は決勝戦 8 位までの平均を用いてみ

ます。まず、驚くのはその釣果。ほとんどがオトリ込みで 10 尾以上。このくらい釣らないと次のステージに上がれないのがあらためてわかりました。ちなみに、これが本当に一般の釣果を反映しているのか？気になりますよね。ということで、私の釣果と比較してみました。長年、時間当たりの釣果を記録しており、ホームグラウンドの小国川のデータはかなり厚みがあります。で、結果は図 1 のとおり。相関係数が 0.52 なので、まずまずの相関があるといえます。ただし、私の腕が変わらないという条件付きですが(笑)、一応、大会の釣果は毎年の釣果水準を反映しているといつて良いと思われ

表 1 大会別上位釣果平均（8 位以内）

(尾)

年	がまかつ	シマノ	ダイワ	3大会
2010	12.7	10.9	14.4	12.6
2011	11.8	11.4	11.0	11.4
2012	10.0	10.3	10.1	10.1
2013	7.0	12.9	9.3	9.8
2014	10.4	11.3	14.1	11.9
2015	7.3	7.6	10.3	8.4
2016	12.9	11.0	15.0	13.0
2017	17.8	15.1	17.5	16.8
2018	12.4	9.6	9.6	10.5
2019	12.3	20.9	25.0	19.4

*各メーカーホームページより

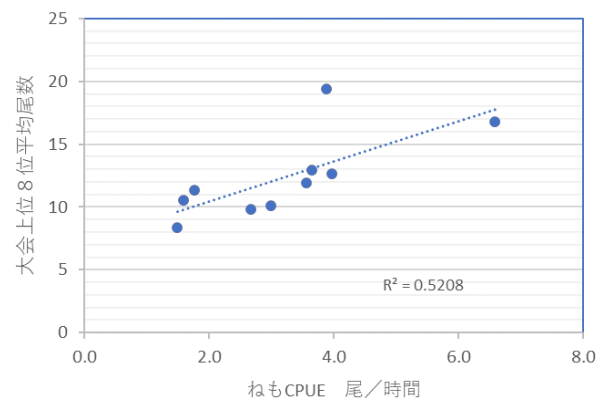


図 1 ねものCPUEと大会の上位者釣果平均の関係 (小国川)

さて、ではこれを反映する調査結果はあるのか？まずは、小国川の漁期前調査結果です。なにせデータが少ないのでどうしたものか？というところですが、限られたデータだと相関は高い結果。ここに 2020 年の調査結果を入れるとまずまずの状況です。

次に山形県の調査結果と比較します。山形県では、先に述べたように最上川と日向川でも調査を行っています。これらとも比較しましたが、どちらも相関はあまり高くありませんでした。というのも、採捕尾数のばらつきが大きく、多分遡上状況を反映した結果になっていないものと思われます。そして、明らかに相関がみられたのが鼠ヶ関川。理由はわかりませんが、日本海側の遡上状況を反映しているのでしょうか？小国川の釣果とかなり高い相関があります。そして、気になる 2020 年。かなり良いことが予測されます。

さて、結果はどうなるでしょう？この予測が的中したら、論文発表します(笑)

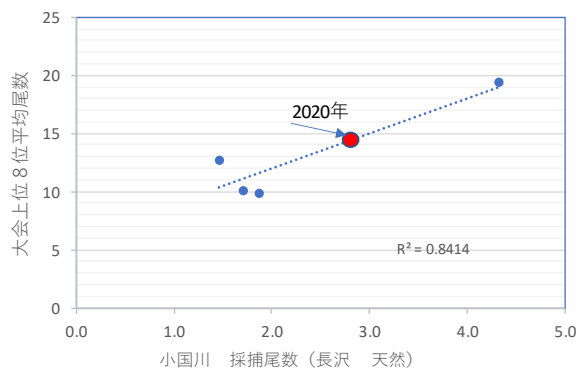


図2 小国川調査結果と大会の上位者釣果平均の関係

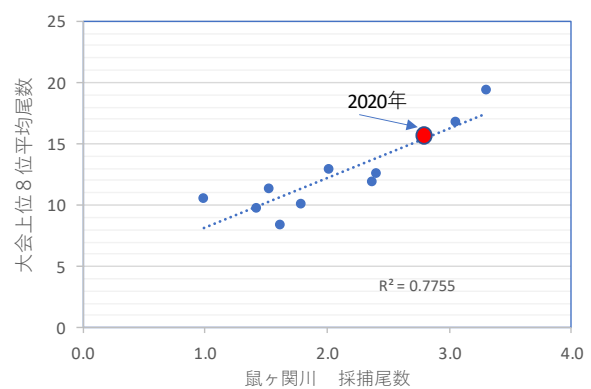


図3 鼠ヶ関川調査結果と大会の上位者釣果平均の関係 (小国川)